



2021年12月14日

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

女子委員会

## 第41回全日本女子アイスホッケー選手権大会 Cグループ関東ブロック予選会 大会要項

- 1 大会名称 第41回全日本女子アイスホッケー選手権大会 Cグループ  
関東ブロック予選会
- 2 主催 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
- 3 期間 2022年1月23日(日)~1月30日(日)
- 4 会場 ダイードリンクコアアイスアリーナ  
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25 Tel: 042-467-7171
- 5 大会事務局 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟  
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25  
Tel: 042-467-8282 Fax: 042-468-2131 E-mail: [tihf@tihf.gr.jp](mailto:tihf@tihf.gr.jp)
- 6 参加チーム 昭和大学ブルーウィンズ、H.C.栃木日光アイスバックスレディース、  
日本体育大学
- 7 参加資格 1) 選手およびスタッフは、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録  
している(本予選会参加都県連盟所属の女子チームへ登録している)。  
2) 高校生以下の選手については各チームで保護者の承諾を得る。
- 8 組合せ 別紙参照
- 9 選手登録 大会参加申込み期限[2021年12月24日(金)]までに登録が完了してい  
ること。
- 10 代表者会議 実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
- 11 参加申込み **2021年12月24日(金)までに**  
1) 以下を女子委員会および事務局宛に E-mail にて送付する。  
(同じメールに2つの宛先を指定すること)  
(1) 指定の参加申込書(Excel、押印省略可。PDFに変換しないこと)  
(2) 参加同意書(要署名、PDF)  
(3) スポーツ傷害保険加入証書の写し(PDF)  
2) 上記(1)の参加申込書を印刷、押印(所属連盟の押印含む)し、事務  
局宛に郵送する。
- 12 大会費 **114,000円**  
内訳)

大会参加費	30,000円
試合費	84,000円
計	114,000円

13 振込み期限 **2022年1月14日(金)**

14 振込先 銀行名: 東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号 016)

口座名: 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟  
ザイ)トウキョウトアイスホッケーレンメイ

口座番号: 0104277

預金種目: 普通預金

※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

#### 15 試合映像撮影・配信

- 本大会では試合の映像撮影および映像配信を行うことがある。本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟(以下 JIHF)に帰属することとし、公衆送信権を公益財団法人東京都アイスホッケー連盟(以下 TIHF)に許諾することがある。
- 本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は本大会参加中の肖像の管理を JIHF および TIHF に委ねることを、本大会参加をもって承諾したこととする。

#### 16 その他

- 全試合無観客とする。**チーム関係者の来場については、別途定める(人数制限等あり)。**
- 新型コロナウイルス感染症の影響による日程変更・対戦方式の変更・特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

#### 17 問い合わせ先・連絡先

公財)東京都アイスホッケー連盟女子委員会

(電話番号、E-mail アドレスは別途お知らせします)

## 競技要項

### 18 競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分(ストップタイム)×3ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。  
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
  - 1) 差が縮まった場合でも継続する。
  - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
    - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
    - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
    - c) 選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などレフェリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
  - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト(30 秒)を取ることができる。

### 19 順位決定方法

ポイント制とする。ポイントは以下の通りとする。

勝ち	引き分け	負け
3	1	0

2 チーム以上のポイント数が同数の場合は、以下の順に順位を決定する。

- 1) 当該チーム間の試合で得たポイント数が多いチームを上位とする。
  - 2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする。
  - 3) 当該チーム間の試合の総得点の多いチームを上位とする。
  - 4) 当該チーム間の試合のペナルティタイム(分)の少ないチームを上位とする。
  - 5) 抽選
- 試合および予選会が中止(延期できない)、途中打ち切りとなった場合は、上記の順位決定方法 5) 抽選により、関東ブロック代表を決定する。
  - チームが試合を棄権した時点で、当該チームは関東ブロック代表選考の対象から除外する。その他のチーム間の対戦成績により、代表を決定する。

### 20 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第 4 項)を除いて、原則として国際競技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。

## 21 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは速やかに、理由とともに書面(E-mail)にて届出なければならない。試合を棄権した場合、0対15で不戦敗とし、代表選考の対象から除外する。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、指定のフォームを用い、**試合開始 30 分前までにオフィシャルに提出する。**
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。  
当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
- 5) 試合実施に必要な最低人数は6名(ゴールテンダー1名とスケーター5名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする(棄権については21-1項を参照)。  
両チームが最低人数に満たない場合は、両チームとも-15点とし、両チームが不戦敗とする。
- 6) ベンチ入りは選手・スタッフ含めて最大25名までとする。ゴールテンダーは2名以内、スタッフは6名以内(最低1名)とする。
- 7) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとソックスを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。  
ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指1本分のみとする。
- 10) ゴールテンダーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームはパンツから出して着用する。
- 12) 原則として、頭髪はヘルメットの中に収める。
- 13) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、下記の手順を取る。
  - 試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与える。
  - 試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアピールは受け付けない。
- 14) **危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。**
- 15) ホーム・ビジター制度を適用する。仮ホームチームは、本部席から向かって左側のベンチ

に入る。試合前のパックスにより、ホーム・ビジターを決定する。パックスは、ソーシャルディスタンスを保ち行う。

16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。

17) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー1名、ラインズマン2名を派遣する。

### <コロナウイルス対応>

18) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

19) 試合時の握手は禁止する(選手、スタッフ、レフェリー、競技役員)。

20) ベンチ内において、スタッフは、飛沫飛散防止のための不織布マスクを正しく着用する。

21) ドリンクボトル、タオルは共有しない。

22) ペナルティボックス内の選手は、相手チームの得点時、自らドアを開けて出ていく。

23) 試合中、ベンチ内の選手は、交代選手以外は座っている。

24) 試合中断時、パックに触れない。ゴールテンダーはキャッチしたらリンク上に置く。

## 22 罰則規定

1) 申込み締切り後、棄権を申し出るチームは速やかに、その理由をそえて通知すると同時に不参加料 114,000 円を納金する。(参加費の振込みが完了している場合は、参加費を不参加料とみなす。)

2) 事前の棄権通知を怠り、かつ、不参加料を納金しないチームは、今後、関東ブロック予選会への参加を認めない。期限については関東地区連絡協議会にて協議の上、決定する。

## 23 保険の加入

- 大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。(保険証書の PDF を提出する。大会要項 11 項を参照)。
- 選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

## 24 試合中の負傷・傷害

- 試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。
- 選手の負傷について、チームは「[傷病報告書](#)」にて公財)東京都アイスホッケー連盟に届ける。

## 25 コロナウイルス対応の特別ルール

- 1) 選手、スタッフは、試合 2 週間前より、体温、体調および簡単な外出メモを記録する(フォームは自由)。
- 2) 選手・スタッフの近親者・学校・勤務先等に感染者が出て濃厚接触者となった場合は、速やかにチーム代表者より、女子委員会および事務局に連絡する。
- 3) 施設関連:

- 入退場については、指定された時間に、指定された出入り口を使用する。
- 施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受ける。
- 施設敷地内において、氷上・ベンチ内以外は常に不織布マスクを着用すること(屋内・雨天時の室内アップにおいても着用する。)
- 控室使用の可否、着替え・ミーティングに使用するリンクサイドエリアは、当日指定する。指定エリア(着替え場所・トイレ・アップ場所)以外への立ち入り禁止。
- 施設内において、選手の水分補給以外は基本的に飲食禁止。
- ゴミはチームで必ず持ち帰る。試合後、ベンチ内や着替えエリアにゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。(施設内にゴミ箱はありません)

## 26 IIHF 改正新ルールへの適用

本リーグ戦では、2021 2022 IIHF アイスホッケー国際競技規則を適用する。ただし、「第 27 条 ゴールキーパーのペナルティ(制限エリア)」および「第 38 条 コーチチャレンジ」は適用しない。

改正ルールについては、日本アイスホッケー連盟ウェブサイト掲載の資料を確認すること  
[https://www.iihf.or.jp/common/img/info/info\\_20211014\\_224434.pdf](https://www.iihf.or.jp/common/img/info/info_20211014_224434.pdf)

\* 新型コロナ対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。